

令和6年度 鳴滝総合支援学校 学校評価アンケート(後期) 集計結果

保護者		R6 実現度				
		よく出来ている	大体出来ている	肯定的な回答の割合	あまり出来ていない	出来ていない
1	子どもは、将来の夢や希望を描けている	20.4%	46.9%	67.3%	30.6%	2.0%
2	子どもは、共通教科で満足感や達成感をもっている	12.2%	61.2%	73.5%	22.4%	4.1%
3	子どもは、専門教科で満足感や達成感をもっている	18.4%	61.2%	79.6%	20.4%	0.0%
4	子どもは、職場等実習で満足感や達成感をもっている	38.8%	53.1%	91.8%	2.0%	6.1%
5	子どもは、学校や保護者が必要と考える「生きる力」を身につけてきている	10.2%	67.3%	77.6%	20.4%	2.0%
6	子どもの目標や学習計画に基づいて計画的な指導を行っている	36.7%	57.1%	93.9%	6.1%	0.0%
7	子どもが理解しやすいように、授業や教材に工夫がみられる	34.7%	61.2%	95.9%	4.1%	0.0%
8	子どもの努力や達成度について、適切に評価されている	46.9%	53.1%	100.0%	0.0%	0.0%
9	子どもが次の目標を持てるように評価されている	42.9%	55.1%	98.0%	2.0%	0.0%

10	子どもは、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すことができている	26.5%	65.3%	91.8%	8.2%	0.0%
11	子どもは、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	38.8%	42.9%	81.6%	18.4%	0.0%
12	子どもは、友達に対して思いやりを持ち、お互いに協力している	26.5%	67.3%	93.9%	6.1%	0.0%
13	子どもは、家庭で任された役割があり、実行している	34.7%	44.9%	79.6%	18.4%	2.0%
14	子どもは自分の長所に気づいている	10.2%	53.1%	63.3%	36.7%	0.0%
15	子どもの自己肯定感が高まってきている	12.2%	53.1%	65.3%	34.7%	0.0%

16	子どもは、健康な生活を送ることを意識して、自分なりの維持管理に取り組んでいる	14.3%	51.0%	65.3%	30.6%	4.1%
----	--	-------	-------	-------	-------	------

17	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	40.8%	59.2%	100.0%	0.0%	0.0%
18	子どもと卒業後の進路や生活について日頃から話をして共有している	20.4%	53.1%	73.5%	24.5%	2.0%

19	個別の相談について、学校は保護者に適切に対応している	38.8%	59.2%	98.0%	2.0%	0.0%
20	保護者として、本校の教育の趣旨や目的を理解している	20.4%	75.5%	95.9%	4.1%	0.0%
21	企業のご協力により実習ができていることを理解している	59.2%	38.8%	98.0%	2.0%	0.0%
22	地域のご協力により演習ができていることを理解している	51.0%	46.9%	98.0%	2.0%	0.0%

85.5%

【特徴・分析】	
・保護者の回答率は68.1％(前期91.8％)	
・保護者の肯定的な回答は前期と比較すると、87.3％から85.5％に減少している	
・保護者の肯定的な回答は22項目中12項目の実現度が高い(90％以上)。特に⑩について前期評価より肯定的な回答が10％以上増加している	
・保護者の肯定的な回答は22項目中7項目が前期の数値を下回っている。特に③⑪⑫に10％以上の落ち込みがある	
【考察】	
・保護者は児童生徒の学習に対して、評価が低い(①②③⑤)が、学校の児童生徒に対する学習指導や授業、教材への工夫等、評価は高い(⑥～⑨)。学習に対して満足感や達成感を持っていないのではないが、という児童生徒への評価(保護者の心配)は教職員として真摯に受け止める必要があると考えます。	
・⑩について、教職員が挨拶をする姿や場に応じた言葉使いを心掛けた成果と捉えませんが、一方で⑪の肯定的な回答の94.0％→81.6％への落ち込みは日々の指導を振り返り、保護者への共有と情報発信が必要と考えます。	
・⑫について、73.1％→65.3％の肯定的な回答の数値の落ち込みは課題と捉えますが、同列項目の児童生徒⑬は70.5％→85.5％と増加し、隔たりがあります。また、⑭についても、76.1％→65.3％と数値の落ち込みが見られ、同列項目の児童生徒⑯は90.2％→87.1％と微減していますが、保護者の捉えと隔たりがあります。児童生徒の育ちの共有や学校生活や学校での取り組みの情報の発信、共有が必要と考えます。また、家庭への保健指導を保健だより等通してこれまで以上に発信し、取り組んでまいります。	

生徒		実現度				
		よく出来ている	大体出来ている	肯定的な回答の割合	あまり出来ていない	出来ていない
1	将来の夢や希望がある	35.5%	41.9%	77.4%	14.5%	8.1%
2	共通教科で「わかった」「できた」と思うことがある	45.2%	51.6%	96.8%	1.6%	1.6%
3	専門教科で「わかった」「できた」と思うことがある	48.4%	48.4%	96.8%	1.6%	1.6%
4	職場実習で「できた」「やりきった」と思うことがある	56.5%	35.5%	91.9%	4.8%	3.2%
5	いろいろな知識や技能が身についてきていると思う	38.7%	54.8%	93.5%	4.8%	1.6%
6	先生は、なんのために勉強するのかをはっきり教えてくれる	59.7%	35.5%	95.2%	3.2%	1.6%
7	先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる	61.3%	33.9%	95.2%	1.6%	3.2%
8	先生は、学習の成果について、伝えてくれる	56.5%	38.7%	95.2%	3.2%	1.6%
9	学習の成果を知って次の目標をたてている	37.1%	54.8%	91.9%	6.5%	1.6%

10	自分からあいさつをしたり、ていねいな言葉づかいで話すことができている	35.5%	51.6%	87.1%	4.8%	8.1%
11	学校のきまりや約束を守っている	63.9%	32.8%	96.7%	1.6%	1.6%
12	ともだちへのおもいやりをもち、お互いに協力している	51.6%	45.2%	96.8%	1.6%	1.6%
13	学校や家庭で自分に任された役割があり、実行している	61.3%	29.0%	90.3%	3.2%	6.5%
14	自分の長所がよくわかっている	37.1%	41.9%	79.0%	12.9%	8.1%
15	自分は大切な存在だ、誰かに必要とされていると感じている	40.3%	45.2%	85.5%	9.7%	4.8%

16	病気や健康に気をつけながら、学校へ通っている	58.1%	29.0%	87.1%	6.5%	6.5%
----	------------------------	-------	-------	-------	------	------

17	卒業後の進路や生活について、先生たちに相談できている	41.9%	45.2%	87.1%	8.1%	4.8%
18	卒業後の進路や生活について、保護者に相談できている	33.9%	40.3%	74.2%	19.4%	6.5%

19	企業の協力により、職場等実習ができていることがわかっている	61.3%	33.9%	95.2%	1.6%	3.2%
20	地域の協力により、校外演習ができていることがわかっている	64.5%	30.6%	95.2%	3.2%	1.6%

90.4%

【特徴・分析】	
・生徒の肯定的な回答の割合は前期と比較すると、85.6％から90.4％に増加している	
・生徒の肯定的な回答は20項目中13項目の実現度が高い(90％以上)	
・生徒の肯定的な回答は20項目中1項目が前期の数値を下回っている	
・以下の項目は前期より肯定的な回答が10％以上増加している	
①将来の夢や希望を描けている(67.2％→77.4％)	
⑮自分は大切な存在だ、誰かに必要とされていると感じている(70.5％→85.5％)	
⑰卒業後の進路や生活について、先生たちに相談できている(70.5％→87.1％)	
⑳地域の協力により、校外演習ができていることがわかっている(80.3％→95.2％)	
【考察】	
・生徒の肯定的な回答の割合の増加は、「わかった」「できた」という思いを持ったり、授業の意図(なんのために、何に繋がっているのか)を捉えたり、校外での学習(演習や実習)に手ごたえや周囲のご協力を感じたりし、学校生活での学びに向き合えていることが伺えます。	
・項目①について生徒たちが自分の将来に対して見通しを持ち「なりたい自分」を目指し、将来への夢や希望へとつながっていくよう取り組んでいる研究の成果だと捉えます。今後も取組を進めてまいります。	
・項目⑮について、学校祭をはじめとする諸行事や実習の取組等の多い後期の学習を進める中、生徒が自分の存在意義を感じられるような取り組みがクラスや学校内で設定され、生徒が役割や責任を果たしながら活動できたと推察できます。その中でお互いを尊重し合える土壌が育っています。今後もこの雰囲気や鳴滝の文化として継承されるよう努めてまいります。	

教職員		実現度				
		よく出来ている	大体出来ている	肯定的な回答の割合	あまり出来ていない	出来ていない
1	児童生徒は、将来の夢や希望を描けている	11.6%	79.1%	90.7%	9.3%	0.0%
2	児童生徒は、「共通教科」で満足感や達成感をもっている	9.3%	86.0%	95.3%	4.7%	0.0%
3	児童生徒は、「専門教科」で満足感や達成感をもっている	32.6%	62.8%	95.3%	2.3%	2.3%
4	児童生徒は、「職場等実習」で満足感をもっている	41.9%	55.8%	97.7%	0.0%	2.3%
5	児童生徒は、個別の包括支援プランに沿った「生きる力」を身に着けてきている	14.0%	79.1%	93.0%	7.0%	0.0%
6	個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導を行っている	16.3%	69.8%	86.0%	14.0%	0.0%
7	学習効果を上げるため、指導法の改善に取り組んでいる	23.3%	76.7%	100.0%	0.0%	0.0%
8	児童生徒の努力や達成度について適切に評価をし、個別の包括支援プランの作成や指導法の改善にいかしている	20.9%	74.4%	95.3%	4.7%	0.0%
9	児童生徒が次の目標を持てるような評価をし、児童生徒に伝えている	41.9%	55.8%	97.7%	2.3%	0.0%

10	児童生徒は、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すことができている	18.6%	69.8%	88.4%	11.6%	0.0%
11	児童生徒は、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	34.9%	65.1%	100.0%	0.0%	0.0%
12	児童生徒は、友だちに対して思いやりを持ち、お互いに協力している	37.2%	60.5%	97.7%	2.3%	0.0%
13	児童生徒は、学校で任された役割があり、実行している	39.5%	58.1%	97.7%	2.3%	0.0%
14	児童生徒が自己理解を深められるような取り組みをしている	34.9%	60.5%	95.3%	4.7%	0.0%
15	児童生徒の自己肯定感が高められるように意識して指導にあたっている	30.2%	65.1%	95.3%	4.7%	0.0%

16	児童生徒は、健康な生活を送ることを意識して、自分なりの維持管理に取り組んでいる	16.3%	76.7%	93.0%	4.7%	2.3%
----	---	-------	-------	-------	------	------

17	個別の包括支援プランを基に、短期目標や評価を保護者に適切に伝えている	39.5%	53.5%	93.0%	7.0%	0.0%
18	児童生徒や保護者と卒業後の進路や生活について話をして共有できている	32.6%	60.5%	93.0%	7.0%	0.0%

19	保護者からの個別の相談に適切に対応している	53.5%	41.9%	95.3%	4.7%	0.0%
20	保護者は、本校の教育の趣旨や目的を理解している	23.3%	74.4%	97.7%	2.3%	0.0%
21	児童生徒は、企業のご協力により実習ができていることを理解している	32.6%	53.5%	86.0%	11.6%	2.3%
22	児童生徒は、地域のご協力により演習ができていることを理解している	39.5%	46.5%	86.0%	11.6%	2.3%

23	教職員間での報告・連絡・相談を常に意識し、情報の共有に努めている	44.2%	48.8%	93.0%	7.0%	0.0%
24	全教職員が「学校いじめの防止等基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている	32.6%	62.8%	95.3%	4.7%	0.0%
25	児童生徒や保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している	48.8%	46.5%	95.3%	4.7%	0.0%

94.1%

【特徴・分析】	
・教職員の肯定的な回答は前期と比較すると、92.0％から94.1％に増加している	
・教職員の肯定的な回答は25項目中21項目の実現度が高い(90％以上)	
・教職員の肯定的な回答は25項目中1項目が前期の数値を下回っている。10％以上の落ち込みは見られない	
・以下の項目は前期より肯定的な回答がほぼ10％以上増加している	
⑥個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導を行なっている(73.8％→86.0％)	
⑩児童生徒は、自分から挨拶をしたり、場に応じた言葉遣いで話すことができている(78.6％→88.4％)	
【考察】	
・教職員が肯定的かつ積極的に学校経営や教育活動に取り組んでいることが伺えます。	
・項目⑩については、前期の結果を共有し、改善できた成果の表れであると考えます。我々教職員は職業学科に通う子どもへの見本となり、教育公務員としての職責を忘れず、日常から同僚、生徒、近隣住民へ挨拶することや一人一人に丁寧に関わることを心がけて職務に励んでまいります。	